



# 校長通信

No.12 令和2年9月7日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

2学期が始まり3週間が経ちました。残暑、厳しい中、子供たちは元気に学校で勉学に励んでいます。

1学期に実施予定であった内科検診も2名の学校医の先生のおかげで、先日、無事終了しました。男子を担当していただいている校医の先生から、河北中学校の生徒は、礼儀正しく、気持ちよい挨拶をしてくるとお褒めの言葉をいただきました。先生は、看護学校で授業をされており、将来、医療の現場に立つ学生にも、「何よりも先ず一番大切なのは、挨拶である。」といつも指導されているそうです。



確かに、医療や教育など、社会ではいろいろな分野がありますが、どの業界においても共通する大切なことは挨拶であると、校医の先生とお話しして改めて感じました。先生のお褒めの言葉を更なる励みとし、これからも子供たちと元気な挨拶を実践していきます。

## 《新型コロナウイルス感染症の対応について》

8月下旬、和歌山市の10歳未満の児童が新型コロナウイルス感染症に罹患したと新聞に報道されました。今、この原稿を書いている段階では、和歌山市において、感染者は大きく増えていませんが、気を抜くことなく感染症拡大防止対策に努めてまいります。

和歌山市教育委員会から新型コロナウイルス感染症に関する対応が資料として出ましたので、その内容を参考に、感染症対策についてお知らせします。

### A 「PCR検査を受ける・受けた生徒が出た」場合

お子様がPCR検査を受けることになったら、速やかに学校にご連絡願います。検査結果が「陽性」の場合、C「新型コロナウイルス感染者が発生した」場合により対応します。検査結果が「陰性」の場合は、翌日より登校可能です。ただし、発熱等の風邪の症状があれば、自宅にて休養していただきます。

### B 「濃厚接触者と特定された」場合

お子様のまわりに新型コロナウイルス感染者が発生し、お子様が保健所の調査等で、濃厚接触者と特定されたら、速やかに学校にご連絡ください。濃厚接触者は、2週間の自宅待機をしてもらうこととなります。PCR検査で、「陽性」の結果がでた場合は、C「新型コロナウイルス感染者が発生した」場合により対応します。

### C 「新型コロナウイルス感染者が発生した」場合

この場合も速やかに学校にご一報願います。学校は、生徒の感染が判明した当日、保健所の疫学調査に協力します。その際に必要となる情報は、本人の約1週間分の行動歴です。学校での活動は、学校で把握していますが、家庭での行動歴は、ご家庭からの情報が必要となるので、ご協力をお願いすることとなります。その後、保健所からの指示（濃厚接触者の特定、消毒範囲を消毒、臨時休業が必要・不必要）を受けます。保健所からの指示を参考に、学校の状況、臨時休業の有無等を保護者充て文書で通知します。